学校評価シート（自己評価）

ひまわり　幼稚園

１、園の教育目標

＜教育理念＞
　温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする
＜教育方針＞
　経験の場をおしひろげた保育
　積極的な体力づくり
　ご家庭とともに歩む保育
＜教育目標＞
　規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）
　意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）
　話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

２、具体的な目標や計画

　評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

３、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
教職員の資質向上	A	・各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。 ・昨年度から各自の研修の内容を他の教員に発表する場を設け、研修で得たことを教員間で共有できるようにした。
教育内容・行事の改善	A	・月１回の定例会議（各園から園長を含む数名が参加）などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。 ・コロナをきっかけとして、行事の内容の見直しを継続的に進めており、時間の短縮や園児の負担の軽減につながった。昨年度は保護者による「保育参加」を再開したが、多くの保護者の方の参加があり、日ごろの教育活動を知っていただく良い機会となった。保護者自身も同年齢の子どもと接することで、改めて子育てのポイントや楽

		しさを感じられたとの感想をもらえた。
教育環境の向上	B	・遊具や園舎等の設備は日常的に職員が点検しているが、事故を未然に防ぐため、昨年度は遊具下にクッション材の設置を行い、環境の向上に努めた。
保護者等への情報発信	B	・ホームページや園だより、担任教諭からのメール等で幼稚園の情報を発信しているが、昨年度はホームページをリニューアルし、内容を整理することで、わかりやすい情報の発信に努めた。
未就園児活動の充実	A	・令和 5 年度にひまわり幼稚園駐車場の隣接地に絵本館を開館し、未就園児教室を行うほか、降園後は開放日を設け、園児や卒園児、近隣の子どもが利用できるようにしている。昨年度はさらなる有効活用のため、開放日を増やすなどした。 ・０歳から２歳児向けの親子サークルや他の未就園児事業も定着し、安心して子育てを楽しむ場を提供している。

４、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結　果	理　　由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。

〇結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

５、今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
教育の質の向上	学年ごと、園ごと、法人全体などで話し合う機会をできる限り設け、風通しの良い職場づくりをし、教職員間でアイデアを出し合うことにより、日々の保育や行事を継続的に改善し、教育の質を高めていく。また、幼少連携の観点から、小学校教員との意見交換などをより緊密に行い、小学校への進学を見据えた充実した教育内容とする。
保護者との連携強化	ホームページや園だより、メール等で幼稚園の情報を積極的に発信し、保護者の理解を深められるよう努める。また、個人面談やクラス懇談会などの機会を通じて、直接、意見を交換することで、幼稚園と保護者間で相互に理解を深めるように努める。
業務運営の効率化	少子化による園児数の減少は避けられないことを踏まえ、効率的な人員配置や各種経費の見直しなどを行い、経費の節減を進める。これにより、財務の基盤を強化し、教育の質や教職員の処遇の低下を伴わずに、長期的なスパンで安定的な園運営を行えるよう、業務運営の効率化を図る。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園　　学校関係者評価委員会
日　時　　令和７年７月16日（水）
　　14：00～15：10（時間）
出席者　　評価委員（保護者）４人
　　評価委員（　　）　人

１．自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

・重要な点は網羅されていると感じる。

２．評価結果の内容は適切であったか

・概ね適切だと思われる。
・具体性に欠け、評価が妥当か判断しづらい項目がある。

３．今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

・概ね適切だと思われる。

４．今後取り組むべき課題は適切に行われているか

・「教育の質の向上」については、保育内容を毎年度同じとするわけではなく、新しい取り組みを試みようとする姿勢、工夫を感じる。
・「業務の改善」については、子どもが通った幼稚園ということで、これからも長く続く幼稚園であってほしいので、今後の取り組みに期待したい。